

東議員（民主県政会）

令和4年9月26日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）国の教員不足解決策について

文科省による、教員の特別免許状の積極的活用や教員採用試験の早期化・複線化といった施策が、果たして教員不足の根本的な解決につながるのか、教育長の認識を伺う。

（答）

本県では、教員採用選考試験を通じて、必要な教員数の確保を図るため、教員志望の学生を対象とした出前講義や、採用試験説明会の拡大、大学等推薦特別選考など様々な取組を行っているところでございます。

そうした中、教員免許状の所持者が少ない、看護や工業といった教科に限っては、教員免許状を持っていない社会人を対象として、特別免許状を活用し、優れた知識や経験を有する者を教員として採用することとしております。

なお、教員採用選考試験の早期化・複線化につきましては、現在、中央教育審議会において議論がなされており、今後、研究が行われるとのことから、国の検討状況を注視してまいりたいと考えております。

県教育委員会といたしましては、教員採用選考試験の志願者確保の取組を進めるとともに、特別免許状の適切な活用などを通じて、人材を確保してまいります。